



「おうみはちまん食品ロス撲滅作戦」実施中！
～リデュース (Reduce) ごみになるものを減らしましょう～

食品ロスとは、食べられるのに廃棄されている食材や食品のことです。日本では、年間約2800万トンもの食品廃棄物が出され、このうち食品ロスは年間630万トン余り、およそ半分の量が家庭から出されていると言われています。おにぎり1個が約120グラムだとすると、国民一人1日当たりおにぎり1個が捨てられている計算となります。これらは可燃ごみとして処理されますが、水分を含む食品は運搬や焼却の際に二酸化炭素(CO2)を排出し、環境に負担がかかります。


食品ロスを減らすためには、買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認したり、食べきれないほどの食材を買いすぎないようにしましょう。また、飲食店では食べきれぬ分量を注文し、食べ残しを出さないなど、食品ロスを減らす意識を持つことが大切です。ご家庭でどんな食品ロスが出てしまっているかを見直し、自分に合った方法を探してみてください。近江八幡市ホームページにて詳しくまとめているので、下記リンク先をご参照ください。
⇒ <https://www.city.omihachiman.lg.jp/soshiki/kankyo/1/1/eco/1872.html>

おうみはちまんエコ通信

夏号

○生ごみのひとしぼり運動

燃えるごみに含まれる「生ごみ」は重量比でごみ全体の約40%を占めると言われています。田や畑がない家庭で、どうしても燃えるごみに生ごみを出される場合は、生ごみを両手でしっかりとしぼって、十分に水気をきってから出す「生ごみのひとしぼり運動」を心掛けましょう。



「生ごみ処理器」を有効活用してエコで、衛生的な生活を！
～近江八幡市生ごみ処理器購入補助金についてのご案内～

市では、生ごみ処理器を購入される方に対し、左図のとおり補助を行っています。補助金については、環境課の窓口または下記連絡先までお問い合わせください。

| 対象機器と補助金額対象機器 | 補助金額 ※100円未満は切り捨て | 補助限度額 |
|-----------------------------|----------------------|---------|
| ボカシバケツ | 購入費用の2分の1の額に相当する額 | 1,000円 |
| 生ごみ処理器(コンポスト)(電気処理によるものを除く) | 購入費用の2分の1の額に相当する額 | 3,000円 |
| 電気処理による生ごみ処理器 | 購入費用の2分の1の額に相当する額 | 20,000円 |

☆生ごみ処理器導入のメリット

- ・ごみの減量化とゴミ出し負担が軽減できる
- ・生ごみのニオイがなくなり、キッチンが清潔で衛生的に保てる
- ・ごみステーションの衛生が保たれ、ごみ量も削減できる
- ・有機肥料としてリサイクルできる